| 今後の手続きについては、様式PCT/ISA/220

PCT

国際調査報告



(法第8条、法施行規則第40、41条) [PCT18条、PCT規則43、44]

出願人又は代理人

の替類記号 P04ATS017WO	及び下記5を参照すること。				
国際出願番号 PCT/JP2004/011433	国際出願日 (日.月.年) 09.08.2	優先 004 (日.	月.年) 19.08.2003		
出願人(氏名又は名称) 株式会社日立ユニシアオートモティブ					
<u></u>					
国際調査機関が作成したこの国際調査報告を法施行規則第41条(PCT18条)の規定に従い出願人に送付する。 この写しは国際事務局にも送付される。					
この国際調査報告は、全部で3ページである。					
□ この調査報告に引用された先行技術文献の写しも添付されている。 ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■					
1. 国際調査報告の基礎 a. 言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願がされたものに基づき国際調査を行った。 □ この国際調査機関に提出された国際出願の翻訳文に基づき国際調査を行った。					
b この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでいる(第 I 欄参照)。					
2. 請求の範囲の一部の調査ができない(第Ⅱ欄参照)。					
3. □ 発明の単一性が欠如している(第Ⅲ欄参照)。					
4. 発明の名称は ※ 出願/	人が提出したものを承認する。				
□ 次に対	示すように国際調査機関が作品	戈した。			
_					
5. 要約は 🗙 出願,	人が提出したものを承認する。		·		
国際		は、この国際調	(PCT規則38.2(b)) の規定により 査報告の発送の日から1カ月以内にこ		
6. 図面に関して a. 要約書とともに公表される図は、 第1 図とする。 図 出願人が示したとおりである。					
±	I願人は図を示さなかったので	、国際調査機関	目が選択した。		
□ 本	図は発明の特徴を一層よく表	しているので、	国際調査機関が選択した。		
b 要約とともに公表される図はない。					

	属する分野の分類(国際特許分類(IPC)) ⁷ B62D 5/07, B62D 6/00				
調査を行った	テった分野 最小限資料(国際特許分類(IPC)) ⁷ B62D 5/07,B62D 6/00				
最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの 日本国実用新案公報 1922-1996年 日本国公開実用新案公報 1971-2004年 日本国実用新案登録公報 1996-2004年 日本国登録実用新案公報 1994-2004年					
国際調査で使用した電子データベース(データベースの名称、調査に使用した用語)					
<u>C.</u> 関連する 引用文献の	ると認められる文献		関連する		
カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連すると	さは、その関連する箇所の表示	請求の範囲の番号		
X Y	JP 4-173478 A (日立建株 22,全文,第1-3図 (ファミリー		$ \begin{array}{c cccc} 1 - 3 \\ 1 0, & 1 3 \\ 4 - 6 \\ 1 2, & 1 4 \end{array} $		
A Y	日本国実用新案登録出願62-20〕	1379是(日本国宝田新安登	19, 20 7-9, 11 15-18 5, 6, 19		
-	録出願公開1-103477号)の原		20		
区欄の続きにも文献が列挙されている。 □ パテントファミリーに関する別紙を参照。					
もの 「E」 国際後にを 「L」 優先若しく 文可頭に 「O」 「O」	のカテゴリー 連のある文献ではなく、一般的技術水準を示す 百日前の出願または特許であるが、国際出願日 公表されたもの 主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 (は他の特別な理由を確立するために引用する 理由を付す) よる開示、使用、展示等に言及する文献 百日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願	の日の後に公表された文献 「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの 「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの 「&」同一パテントファミリー文献			
国際調査を完了	了した日 06.09.2004	国際調査報告の発送日 21.9.2	2004		
日本国	D名称及びあて先 国特許庁(ISA/JP) 耶便番号100-8915 耶千代田区設が関三丁目4番3号	特許庁審査官(権限のある職員) 関 裕治朗 電話番号 03-3581-1101	3Q 2924 内線 3379		

C (続き).	関連すると認められる文献					
引用文献の カテゴリー*		関連する 請求の範囲の番号				
A	の内容を記録したマイクロフィルム(トヨタ自動車株式会社)19	1-4				
	89.07.12,全文,第1-2図(ファミリーなし)	7 – 1 8				
		1.0				
Y A	日本国実用新案登録出願62-72191号(日本国実用新案登録出願公開63-180470号)の願書に添付した明細書及び図面	$\begin{array}{c c} & 1 & 2 \\ & 1 - 1 & 1 \end{array}$				
	の内容を記録したマイクロフィルム(トヨタ自動車株式会社)19	13-20				
	88.11.22,全文,第1-3図(ファミリーなし)					
:						